

1. 「世界津波の日」2019高校生サミット in 北海道

9月10日・11日の2日間、国土強靱化の担い手となる将来のリーダー育成と国際理解の推進を目的に、世界津波の日高校生サミットが開催され、道内18校を含む国内68校、海外43か国から過去最多となる約400名の高校生が「北海きたえーる」に集いました。

10日は、開会式で道内高校生が参加した事前学習ツアーと海外高校生が参加したスタディツアーの報告が行われたほか、3つのテーマの下、12のグループに分かれた分科会で事前に学習してきた内容について議論を重ねました。



サミット参加者集合 (9月11日)

11日は、記念植樹・記念碑除幕式の後、総会・閉会式が行われ、前日の議論を基に、かけがえのない自然を守り、災害に備える決意として、「過去の災害を知り、防災などを学び広めていくこと」、「災害への意識を高め、自ら安全を確保する行動が出来るよう備えること」、「より良い復興に向けた取組に進んで参加・協力すること」など、高校生自らによる自然災害に備えた行動が盛り込まれた「イランカラプテ宣言」を採択し盛会のうちに閉会しました。

※ サミット当日の映像等はこちらからご覧になれます <https://tsunami2019hokkaido.jp/>



2. 第1回「北海道強靱化計画」有識者懇談会

8月30日、道庁で北海道強靱化計画の改定に向けた第1回目の有識者懇談会を開催しました。

事務局からは、国土強靱化を取り巻く状況や関連施策の取組結果、また国の基本計画や昨年の胆振東部地震などを踏まえて、起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）の見直し案などを説明しました。

委員からは、ICTなど新たな技術の導入や自助・共助・公助の再認識、フェイクニュース対策、応援・受援体制の強化、防災教育の充実、インバウンドへの対応など、新たに計画に加えるべき視点について様々なご意見をいただきました。

今回は、現行の強靱化施策に関する脆弱性の評価結果や国全体の強靱化に貢献するバックアップ機能の検証結果などについてご意見をいただく予定となっています。



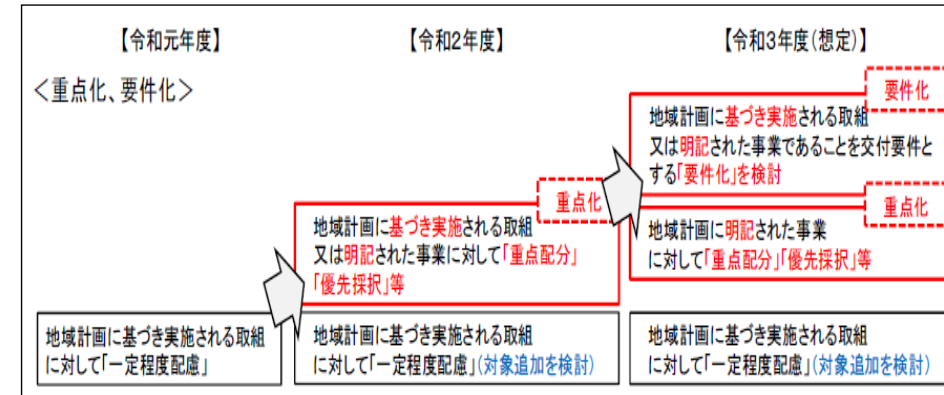
有識者懇談会の様子

3. 国土強靱化関連予算の「重点化」「要件化」

8月2日、国土強靱化の推進に関する関係府省庁連絡会議が開催され、国から、国土強靱化地域計画に基づいて地方公共団体が実施する補助金・交付金事業に対して、予算の「重点化」「要件化」等を進めることにより、地域計画の策定と国土強靱化の取組の一層の促進を図る方針が示されました。

具体的には、令和2年度あつては、地域計画に基づき実施される取組などに予算の「重点配分」「優先採択」を行うこと、また令和3年度については地域計画に明記された事業を交付要件とする「要件化」などを検討中であるとのことでした。

これを受けて、道では、新たに地域計画策定マニュアルを作成し、10月から各地域で説明会を開催するなど、市町村の計画策定等への支援を強化していきます。



関連予算の「重点化」「要件化」(関係府省庁連絡会議資料抜粋)

4. 国土強靱化地域計画の策定状況 (令和元年9月30日時点)

管内	策定済	策定予定	計	管内	策定済	策定予定	計
空知	岩見沢市	21	22	留萌		8	8
石狩	札幌市	7	8	宗谷		6	6
後志	寿都町 喜茂別町	18	20	オホーツク	紋別市	17	18
胆振		8	8	十勝	芽室町 中札内村	15	17
日高		7	7	釧路	釧路市	7	8
渡島		11	11	根室		5	5
檜山	(管内7町)	-	7	計	16	152	168
上川	美瑛町	22	23	(全国*)	(115)	(242)	(357)

※ 令和元年9月1日現在(内閣官房国土強靱化推進室HP)に道内分を追加

5. サポートします。地域計画策定！

国土強靱化地域計画の策定を検討されている市町村へ説明に伺います。ちょっとしたことでも構いませんので、質問等ありましたらお気軽にご連絡ください。

北海道強靱化計画

検索



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です